

まちづくり ゆめづくり

坂本の若者が、坂本に住み続けられるまちになるように



穴戸昌弘さん(中洗井2)

広島県出身。
坂本生まれ、坂本育ちの奥様と出会い、結婚を機に坂本へいらっしゃいました。2020年に開園した中津川市立坂本こども園の、初代保護者会長を務められ、コロナ禍の中、子どもたちが安全で楽しく園生活を送ることができるように尽力されました。

—坂本に來られて13年とのことですが、住み心地はいかがですか？

穴戸 とてもいいです。人が温かくて親切。出身地に關係なくフレンドリーに付き合ってもらえます。生活面も整っているの、とても暮らしやすい場所ですね。

—コロナ禍での初代坂本こども園の保護者会長、お疲れさまでした。

穴戸 2020年の開園から2年間務めました。子ども園の開園とともにコロナの大流行。子どもたちが楽しい園生活を送るためにどうしたらいいのか、保護者代表として何が出来るのか、毎日園長先生と相談していました。

—お楽しみ会は、かなり工夫されたと聞きました。

穴戸 子どもたちがどんな場所で、どんな生活をしているのか、保護者は知りたいと思うんです。そこで、保護者が来ても密にならないよう、学年別に時間差でお楽しみ会を開催し、園内見学もできるようにしました。大変な2年間でしたが、よい経験をする事ができました。

—その子供たちが今の穴戸さんの年になる30年後、どんな坂本になって欲しいと思いますか？

穴戸 安全で活気のある、子どもたちの笑い声が聞こえるまちです。坂本の若者たちが、坂本に住み続けてほしいですね。そのためには、地元の企業の力が大切です。若者が東京や名古屋へ出ていくのではなく、東京からリニアに乗って坂本の会社に勤めに来る、そんな未来が来るといいですね。

私は、企業様のホームページ制作の会社に勤めています。多くの企業様が今以上に雇用が生まれるよう発展し、より優秀な若者の雇用を生み出せるよう、お手伝いをしていきたいと思っています。

穴戸昌弘さんからご紹介の坂本LOVERsは、小池隆太さんです。次回もお楽しみに！

ひととひとをつなぎたい！

リニアの来るまち
坂本まちづくり協議会

〒509-9131 中津川市千旦林1197-10 TEL 68-2001 FAX 78-0002



スマホ用QRコード
(まち協ホームページ)